

30日死者の状況

1 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者	区分	9 月中		9 月末			
		増 減	比 率	増 減	比 率		
	24時間死者	4	-4	1.00	74	+6	1.00
	30日死者	3	+2	0.75	25	+2	0.34
	30日以内死者	7	-2	1.75	99	+8	1.34

○ 全国

死者	区分	8 月中		8 月末			
		増 減	比 率	増 減	比 率		
	24時間死者	246	+6	1.00	1,655	-2	1.00
	30日死者	54	+17	0.22	328	-17	0.20
	30日以内死者	300	+23	1.22	1,983	-19	1.20

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

2 概要

9月末の県下の「30日死者」は25人（+2人）、「24時間死者」は74人（+6人）で、これらをあわせた「30日以内死者」は99人（+8人）であり、「24時間死者」の1.34倍となっている。

3 特徴（30日死者の構成率）

- 地区別 阪神8人（32.0%）、神戸7人（28.0%）、東播4人（16.0%）、西播4人（16.0%）、高速2人（8.0%）で発生している。
- 状態別 歩行中12人（48.0%）、自動二輪乗車中4人（16.0%）、自転車乗用中4人（16.0%）、自動車乗車中3人（12.0%）、一般原付乗車中2人（8.0%）となっている。
- 年齢層別 65歳以上が16人（64.0%）、25～64歳が7人（28.0%）、16～24歳が2人（8.0%）となっている。
- 経過日数別 10日以内の死亡が15人（60.0%）となっている。
- 損傷部位別 頭部の損傷が18人で、72.0%となっている。